

技能五輪全国一位の実績。確かな技術で木材加工の素晴らしさを継承

# 林田木工

【はやしだもっこう】

鹿児島県  
肝属郡  
東串良町



Higashikushira Town

0.1mmの誤差が仕上がりに影響するため制作は慎重ながらも「とにかく作ることが大好きなので、ついめりこんでしまいますね」と笑顔の良一さん。

## 返礼品を通して伝えたい 職人の技術と手加工のぬくもり

〈林田木工〉は代表の林田良一さんと弟・直樹さんの二人で切り盛りする建具屋です。良一さんは、地元の工業高校を卒業後、東京の建具訓練校に通い、確かな技術を身に付けました。さらに、青年技能者の技能レベル日本一を競う「技能五輪全国大会」で第一位となり、日本代表として世界大会へ出場した輝かしい経験の持ち主。「世界大会では海外の木材の材質や使う道具の違いなどを目の当たりにして難しさも痛感しましたが、自分の技術や

日本独自の技法に多くの関心を寄せていただき、自信を持つきっかけになりましたね」と振り返ります。

現在は、オーダー建具の制作や建具の修繕をメインの仕事とする傍ら、ふるさと納税返礼品の制作にも熱を注ぎます。図面を書いては材料を切り出し、納得が行くまで試作の繰り返し。「既製品が主流となる昨今、少しでも手加工のあたたかみに触れていただく機会になると嬉しいですね」。

## 林田木工



お父さまが構えた工場を遊び場のようにして育った兄弟。幼いころから木材に触れ、ものづくりをしながら生きていくんだろうなという思いが自然と芽生えていたそう。今では祖父や父が手掛けたものの修繕を請け負うことも。「先代を知る人から声をかけてもらえるのは地元ならではの嬉しいですね」。

## ウッドパズルや木製フレーム

まだまだ広がる木工品の可能性



先祖代々受け継ぐものづくりの精神

地域密着型の建具店

カラフルに色づけされた直径3cmほどのウッドパズル。東串良町の文化祭に出展した際に、遊び心のあるもので興味を惹きつけたいと作ったそう。知人から「孫の賞状を飾るフレームを」とオーダーを受けて作った額縁がふるさと納税の返礼品に追加されたりと、まだまだ林田さんの木工品の可能性は広がります。

どこか懐かしい  
ぬくもりのある  
明かりが灯る  
ナイトスタンド。



## 林田木工

〒893-1614 鹿児島県肝属郡東串良町新川西3630

TEL/0994-63-9380

発行:東串良町役場 企画課 ふるさと納税担当

〒893-1693 鹿児島県肝属郡東串良町川西1543

TEL/0994-63-2630 FAX/0994-63-3138



左/林田 直樹さん・右/林田 良一さん

トントントンッと木材を叩く小気味よい音が響く木工所。庭先には近所の猫たちが集いのんびりとした空気感が漂います。「このゆっくりとした感じが好きですね」。生まれ育った故郷で兄弟二人三脚のものづくりが続きます。